

えびあん

立川と語ろう 立川に生きよう

October 2016

Écoutez Bien Vol.35 No.383

10

スペシャルタレントの時代



表紙の人 / NPOしらゆり三代 (柴崎町)



多摩の土の土俵

8月4日に行われた大相撲夏巡業 立川立飛場所
 こだわったのは「土俵」だった
 八角理事長も驚いた「立川の土俵」をご紹介します

ららぽーと立川立飛の建設で出た大量の土。砂利を取り除いて、その60トンを使って作った土俵。本場所の土俵は「荒木田」という土を使い、44人の呼出さんが1週間かけて作る。立川立飛場所の土俵は、3人の呼出さんがボランティアの手を借りて3日間で作り上げた。

四角い土俵の基本型に土を盛って固めた後、呼出さんの指示で土俵作りが始まった。いろいろな作業を並行して行っていく。藁でできたコモのようなものを俵状にし、そこに土を入れて勝負俵、徳俵、踏み俵の計35本を作る。土俵上では、カチカチだった土の表面を耕すように柔らかくしてから、土俵の中心を定め、そこから直径15尺の円を縄でコンパスのように型どり、そこに勝負俵を埋めていく(俵をいけると言う)。土俵表面を水で濡らしながら、大叩きという道具で叩いて平らにし、のり面は小叩きでなめらかに作りあげる。と、このような流れだった。

立川の土で一からの土俵作り。なかなかこんな機会はないだろうから自由に見学をという勧進元の配慮で一般市民が集まった。直接、呼出さんに質問したり、実際に土俵に触ったり。俵を作るにも、俵を土にいけるにも、使われる道具はビール瓶。それもメーカーが決まっているのが面白い。おしゃれな肩の瓶ではなく、ガラスに厚みがあってちゃんと肩のある大瓶。それが一番なのだとか。

場所当日はもちろん楽しいが、立川立飛場所はこの土俵作りが一番面白かったかもしれない。なにしろ他では観られないのだから。



ひらめきで生きていく

人が好き、言葉が好き

返り点なしで漢詩を読む、くずし字の日本語を読む

関西弁も共通語も使いこなす

それがクリス先生

プロフィール

僕の祖父は鍛冶屋でした。父はバスの運転手、母は美容師です。僕の家族は、みんな学問は嫌い。先祖から農家でした。僕の家には最初の頃はテレビもラジオもなかった。今も僕の家にはテレビはありません。十何年もテレビは観ていないですね、テレビは嫌いです。今の家にはラジオもなく本ばかりです。日本人の妻と子どもがいますが、家の中は静かですよ。カナダの家は大平原にありましたから、大学を卒業してバンクーバーに行って、初めて山というものを見ました。びっくりしました。山という言葉は知っていましたが、絵も見ただけでしたが、実物は初めてでした。僕は若い時に木工をやっていたので、木で何かを作るのが好きです。本棚や机、娘のおもちゃは全部僕が作っています。木はいいですよ、生き物ですから。この鉄瓶、鉄もね、半ば生き物ですから、これもいいでしょう？ 長火鉢を買いましたよ。五徳を入れてね、炭で火を起し鉄瓶でお湯を沸かして、それでお茶を飲めばよけい美味しくなるよ。

実家からバスで30分くらいのところに中華街があって、中国人、厳密には香港人がたくさんいました。同級生も半分くらいは中国人でしたね。僕はそこでカンフーにはまってしまった。カンフーのおかげで中国語が勝手に身について、中学生の頃から英語と同じように、普通に読んでしゃべっていました。でも中国には一度も行ったことがありません。あまりにも中国語が上手すぎ、スパイだと疑われたこともあった。22歳くらいで日本に来て、熊本の田舎町で2年くらい

英語の先生をやって、日本の文学を勉強しよう、どこかの大学院に入ろうと、大阪の堺市に引っ越したんです。どうして堺市か、わかりません。今も理由はわかりませんが、そこに行けば何かあるというひらめきです。そこで日本人の塾で漢文を教えながら(笑)、もちろん英語も教えました。京大の大学院に進み、この京都で妻と出会いました。

これが娘の写真です。かわいいでしょ？ 本当にかわいくて、家にいてずっと見ていたんです。僕の中には8歳の子どもと80歳の老人の2人がいると妻が言います。その間はない。だから「子どもっぽい」と言われるのがとても好きです。遊ぶのはものすごく上手ですから、娘といくらでも遊べます。奥さんの写真ですか？ それは心の中に飾ってあります。

言語

妻と僕はお互いのおかげで日本語も英語もうまくなりました。娘には1日おきに日本語と英語で話しています。初めて日本に来た時は、日本語はまったくできませんでした。漢字は読めましたが、日本語はできなかった。でも話が通じないとつまらないでしょう。それで夜中にお墓へ行ってね、墓石を指でなぞって、なんて書いてあるのだろう、日本人はこういう風に漢字を使っているのだろうと、自分でいろいろ研究しました。昼間だと人が見るので怪しまれる。当然、夜に見られたらもっと怪しいのだけれど(笑)、田舎の夜は誰もいません。幽霊は怖くないですよ。無神論だから関係ない。幽霊が来ても面白いしね、話してみたい。来ているのに気が付かないと言うなら、それは来ない

のと同じですよ。来るなら知らせてくれないうと不親切でしょ。

言葉を覚えるのが大変って言われますが、少なくとも漢字は苦勞ではなかった。他の人にとっては苦勞かもしれませんが、僕には趣味ですからとても楽しい。今は毎朝、駅まで行くのにベルシャ人と待ち合わせして通っています。ベルシャ人の彼に僕が英語を教えて、代わりに彼は僕にベルシャ語を教えてください。僕には言語に関する嫌悪感がまったくない。言葉は頭に残ります。文法書なんて一冊も読まないです。人間の口から出てくる言語ならなんでも大歓迎。人が好きなので、人と触れ合って言葉を覚えてしまいます。

ある専門的な本を読んでいたら、大人になると言語を司る脳の部分がどうしても硬くなってしまふそうです。が、ごく稀に、少数ではあるけれども、脳のその部分が子供のままでいる人がいるそうです。僕はどうもその少数に入っているようです。子供が言葉を覚えるように、どんな言葉でも自然に身につけてしまう。その代わりに、他に犠牲になる脳の部分があるわけです。僕は、数字はまったくだめです。歴史も混乱してしまって覚えられない。学問がきらいでしたが、童話が好きでした。毎晩物語を読んで、僕が母に文学をやりたいと言ったら「どうぞ、やりなさい」と。幸せであればよいと言ってくれましたね。

でも僕には罪悪感が募るのです。自分の好きな本を読んで、それについて論文を書いてお金をもらうなんて、変な社会ですよ。治療もしていない、人を守ってもしない、橋も作っていない、それなのにお金を

もらうなんて社会的にはおかしいでしょ。一方、精神的にみるとすごく貢献が大きいと思います。そう言わないと自分の存在を否定することになります。でも、本当はやっぱり恥ずかしいです。本当に僕がやりたいのは、僕の先祖のように農業をしながら暇な時間に本を読むこと。実現したいですよ。

国文研でやっていること

今、国際化、国際化というので、そういう意味で必要とされているのではないかなと思います。何か国語も話せるので便利ですよ。ベルシャ語でパソコンのことを「ラヤネエ」というのですが、その意味は「便利な道具」です。で、僕も「ラヤネエ」かな、国文研の。

今までは漢文、漢詩が専門ということで来ていますが、日本文学ならなんでも好きです。くずし字はきらいですが、読めてしまいます。今、18世紀と19世紀の類書、百科事典ですね、それを調べて日本と中国との関係を研究しています。例えば、僕は天狗が好きです。これは明の時代の天狗の絵です。「天狗は狗だったのか？」とは、いい質問ですね。それが肝心なところですよ。天狗は狗なのか、天狗とは何か。日本の天狗は人間の姿に似ています。羽が生えていて、言ってみれば鳥でしょう。中国には鳥と狗、というより狐っぽい姿の両方があったのです。日本にも最初は両方あったのに、では現代においては、なぜ狗の姿は消えてしまったのか。そういうことを研究しています。中国の「山海経」を見て、天狗のようなもの

があるかどうか。天狗の話が出てくるのですよ。「ここにけだものあり、てんぐといわく」とかね。そういうものを時代に沿って辿っていく。こうして絵を見せながら語ったら変化がわかりやすいでしょう。関係する論文も集めます。日本語はもちろん、英語の論文、中国語の論文。3つ言語ができるから助かるのです。同じ類書を見ても、違う言語世界からみると違う見方が出てきますから。

ひらめき

僕は面白い人？ そうですか(笑)。あなたも相当面白い(笑)。これは褒め言葉。幸せそうな顔をしていますね。見ているだけで気持ちいいですよ。僕は面白い？ 面白いかな。そうかもしれないね。無神論のくせに直観で生きている。日本がなぜ好きかとかなぜ大阪にいたかとか、僕には全然わかりません。全部直観があって、「じゃ、やろうか」と。なんでもそうです。

日本に来て熊本県の宇城市(旧小川町)に住んだ。その後京都で今の妻と出会いましたが、1週間半交際して求婚しました。僕は時間ももったいないと思った。直観でこの人だとわかっていただけです。「はい!」と返事をもらって、「よし!」と思いましたが。その後、妻のご両親は熊本出身だとわかり、僕たちの結婚のお披露目はお義父さんの弟さんのやっているお店でと言われたところ、それは僕がよく知っている店で、披露宴の給仕してくれた女性たちは全部僕の教え子たちでしたよ。まったくの偶然ですが、不

クリストファー・リーブズ氏

カナダ マニトバ州ウィニペグ市出身。マニトバ州立大学で英米文学の学士取得。教育学部の学士も取得し、ウィニペグで高校の先生を半年経験したが、自分には興味のない仕事だと気付き日本へ。京都大学大学院で国文学の修士を取得。その後、カナダのアルバータ州立大学で日本文学の修士を取得、さらに米国のコロンビア大学で日本文学の修士を取得して、現在同大学の大学院博士課程を修了、博士論文執筆中。2016年4月より、国文研 助教。髭は新しい家伝をつくるため伸ばしている。地面に着くようになって伸ばし続ける。国文研の面接のために一度剃ったが、実年齢の35歳よりずっと若く見えてしまい気に入らなかったそうだ。

思議でしょう？

無神論者ですが、ユングが大好きですね。ご存知ですか？ カール・グスタフ・ユング。フロイトよりユングが好き。ユングっぽく言えば、運命とか直観という言葉を使わなくていい。無意識の世界です。無意識の世界は意識できないものです。だから、無意識の世界と言う。意識している世界と無意識の世界がありますよね。意識している時は、無意識の世界が何をやっているかわからない。それがなぜか、意識の世界に「ひらめき」として上がってきて、「ああ、この女性はいいい人だ、結婚しよう」とか、「日本文学をやろう」「大阪の堺市に行こう」とか。それを直観と言っていますが、無意識の世界ではわかっていることですね。ただ、我々は意識の世界ではそれを探ることはできない。無神論とは矛盾していない気がします。ひらめきで生きている。でも実感があるものだから否定できないです。

心の輝きに会いにいこう

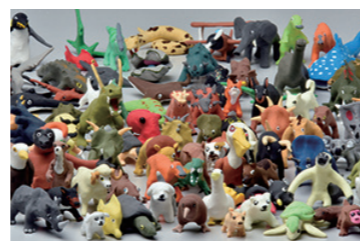
アール・ブリュット立川2016

2016年10月26日(水)～10月31日(月)

昨年初めて立川で開催された展覧会
魂が宿った作品に誰もが心を打たれました
今年も「アール・ブリュット立川2016」、開催します!



1枚の板の表裏に描かれた魚の絵。ここではそれをつなげてみました。



「アール・ブリュット」はひとつの芸術分野です。「加工されていない、生のままの芸術」という意味だそうです。こころのままに描き創造するアート。フランスで、アメリカで、世界中で注目を浴びる分野となりました。

「アール・ブリュット立川」は障害のある方々のアート展。でも実は、スペシャルタレントを持っている方々の作品展なのです。誰にも束縛も影響もされない心の表現。常識という枠を軽々と超えた作品群は、圧倒的な力をもって私たちに迫ってきます。

スペシャルタレントの持ち主には、「ねばならない」がありません。その可能性はどこまでも大きく広がります。心のままに。なんの計らいもなく。ただひたすらに集中する。純粋な思いが作品を創りあげます。感動させようなんて、微塵も思っていない作品に、あなたは何を感じるでしょう？

『アール・ブリュット立川2016』

2016年10月26日(水)～10月31日(月)
伊勢丹立川店 5階 特別室・2階 ギャラリースクエア 入場無料
10:00～19:00 (最終日は5階のみ17:00まで)
今年が多摩モノレールのご協力で、
モノレールの駅構内にも作品が展示される予定です。
立川はアートの街ですもんね。

えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。
今月は 曙町・羽衣町・錦町 のお店です。

曙町	玉屋 KITCHEN	595-7847
	立川グランドホテル	525-1405
	カフェ アパン	527-4479
	手打ちそば しえもと	529-5468
	シンパン	522-6211
	天ぶら わかやま	525-0222
	多摩水族館	524-0288
	すし 魚正	522-3437
	園部肉店	522-2901
	Cut Studio SOFIA	528-3241
	レストラン いなつき	528-1470
	立川市女性総合センターアイム	528-6801
	エミリーフローゲ 立川高島屋店	526-9788
	立川高島屋 ギフトサロン	525-2111
	オリオン書房 ノルテ店	522-1231
	洋食屋 にゅうとん	522-3921
	お菓子屋 Périco	526-1220

羽衣町	額縁専門店 プリムベール	528-6789
	たましん 東立川支店	524-0611
	ギリシャレストラン SHUPOUL	519-3923
	林歯科医院	522-5657
	中島豆腐店	522-5732
	新鮮野菜・惣菜 立川商店	522-3565
	本・事務用品 泰明堂	522-3353
	本と文具 ないとう	522-3677
	赤松タバコ店	524-7852
	BB TAKAOKA	521-0236
	まごころ銘茶 狭山園	527-0146
	お好み焼ともんじゃ焼 こけし	526-1267

錦町	めがね・とけい・補聴器 カワハラ	525-4427
	鳥料理 くし秀	522-7692
	寿司勝	522-4874
	IL COVO	595-9071
	イタリア料理 トラットリア ドン シェ	512-8735
	宮地楽器 MUSIC JOY 立川南	526-1779
	カフェといもの penta merone	529-5221
	中国料理 五十番	522-7472
	一六珈琲店	527-1680
	手づくりみそ 材料専門店 北島こじ店	524-3190
	new gyoza 1059 餃子天国	526-2283
	イタリアンダイニング asa	529-5668
	バル アラディ	523-3917
	CAFE SOMMEILLER	527-1440
	中国整体院	529-1088
	中国菜館 多味軒	526-5925
	日本クッキングスクール	522-3440
	元祖5本指ソックス専門店 LASANTE	540-1616
	ホテル日航立川 東京	521-1111
	美容室 アリス	525-1100
	手打ちそば くまはら川	595-6810
	あちゃ	526-2278
	FALCO hair	528-2389
	N HAIR WORLD	523-5336
	創作料理 cafe & bar 厨 ~kuriya~	595-7449
	TTM (株)	524-5787
	Bakery Café Crown	526-2226
	日本空手道 佐藤塾	548-7460
	三田花店本店	524-4187
	いわさき痛みの整骨院	529-5123
	いしや薬局	525-9212

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我浄は
スマートフォンアプリ「ivy」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩：111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

今年も応現院で！——自衛消防審査会

秋恒例の事業所自衛消防審査会。事業所のイメージアップにもつながっているため、各事業所、とても力が入っています。平成28年度自衛消防審査会は、審査会場を泉町にある応現院の芝生広場に移し、新たに自衛隊東駐屯地からは男子隊に続いて女子隊も参加。昨年男女ともに入賞した立川市役所や入賞常連の伊勢丹女子隊、男子隊で連続優勝を果たしている立飛ホールディングス、昨年優勝の一如社女子隊などなど強豪ぞろい。接戦が期待されます。立川消防署管轄の自衛消防隊はとても水準が高いという評判です。一般の方の応援も可能ですので、安全安心の街づくりに頑張る自衛消防隊をみんなで応援しましょう！



昨年の様子

日時は、平成28年10月13日(木) 12:30～ 応現院芝生広場(モノレール立飛駅より徒歩5分)

極地研の一般公開

年々パワーアップしてくる極地研の夏休み一般公開。今年もたくさんの親子連れや学生さんが来館していました。1階から4階まで、どこも人、人、人でいっぱいでしたが、身近に北極や南極を感じられる場所にはありません。大好評の一般公開となりました。2階に上がると、展示前に国文研の山本和明先生が極地研のTシャツを着てお客様に説明されているじゃありませんか。「こんにちは」と声をかけられたので振り返ると、9月号掲載の国文研ダヴァン先生がご家族で。研究機関、もしかしてグローバル且つ一体化してます？



南極の氷は毎年人気



先生と一緒にやってみよう

サイエンスカフェがバージョンアップ

国立極地研究所の「まちなかサイエンスカフェ」がバージョンアップして、「サイエンスパー」になりました。7月21日(木)、サンサンロード沿いのシネマカフェで開催されたのは極地研の本吉洋一教授による講演「地球のタイムカプセル—南極—」。おいしいピザやパスタ、アルコールも出て楽しい会になりました。実際に南極の氷を水に入れて太古の空気の音を聴いたり、地球外物質の隕石を触ったり、ルビーやサファイアの入った岩石を見せてもらったり。立川だからできる企画ですね！



小学生の参加もありました



冷蔵庫の氷と南極の氷

重要航空遺産に認定されました

2012年9月5日に十和田湖から引き揚げられた旧陸軍の立川キ54一式双発高等練習機。立川飛行機が造ったものです。昭和14年3月、陸軍から多目的双発練習機の試作指示があり、立川飛行機では自社初めてとなる双発、全金属製、引込脚の機体を設計。昭和15年6月24日に試作第1号機が初飛行しました。デザインも構造も性能も素晴らしかったので、生産総数は当初の計画を上回り1342機になったということでした。さすが、立川のものづくり！

引き揚げられた機体は、昭和18年9月27日に不時着し水没したものです。この度、重要航空遺産に認定されました。いつか立川飛行機が造っていた飛行機を一堂に集めていただいて、立川でみんなが観ることができるようになるといいなと思います。



重要航空遺産に認定された一式双発高等練習機 湖から引き揚げられて空気に触れて劣化しているそうです



飛行機についていた銘盤

「こどもドリームフェスタ」が開催されます

10月16日(日)10時～14時半、サンサンロードで繰り広げられる「子どもたちが創るお祭り」です。公益財団法人立川青年会議所が主催するイベントで、応募した小学4年生～6年生148人が、夏休み中に職業体験した成果を発表する場です。実はえくてびあんもジャーナリストという職種で協力させていただきました。どんな風にできあがるのか、それは見てのお楽しみ。おいしいものもたくさんあります。みなさん、遊びに来て下さいね！



グランドホテルでウェ이터・ウェイトレスの体験中。カメラマンチームとジャーナリストチームもそれぞれ取材体験

民間救急サービスをご存知ですか

7月16日(土)セレミアホールディングスのガーデン会館玉川上水に行ってきました。「大感謝祭」と題されたイベントは、人形供養祭、野菜直売、お楽しみ屋台コーナー、さらにはピアノ演奏会まであって大勢の人が集まり楽しんでいらっしゃいました。建物の外には東京消防庁認定第1号の東京民間救急サービスの医療サポートカーの展示コーナーがあり、車両の中を見学できます。消防庁の救急車みたいですが、説明を聞いてびっくり。歩けないから、車イスが必要だからと生活の幅を狭めなくてもいいのです。民間移送サービスを利用すると、通院や転院、入退院の際はもちろん、温泉旅行やコンサート、結婚式や同窓会にも安心して参加できるそう。この日は救急救命士が車の中で簡易健康チェックをしてくださいました。脈拍、血圧、体中の酸量や心臓から遠い、あるいは近い血管の動脈硬化の度合いが数字で示されます。結果にみんなワイワイガヤガヤ。健康ってみんな気になるんですね。



民間救急車両 外で血圧を測って、車両の中でそれぞれの測定データを見ながらお話を聞きます

表紙の人

石原照孝さん、玲子さん、康博さん
野尻淳江さん、実里さん(後列左)

知的障害者の福祉作業所を運営するNPO法人しらゆりは、昭和29年現在の地、柴崎町3丁目で発足しました。当初は市役所にお勤めする照孝さんのお母さまが個人で始められたものですが、10年前にNPO法人化。裏方に徹する照孝さん、NPOの理事長として、作業所の施設長としてフル稼働の玲子さん。幼い頃からこの環境に馴染んで育った淳江さん、康博さんも、それぞれ保育園や会社員の道を経て、今はしらゆりの職員として働いています。そして実質4代目になる淳江さんのお嬢さん、実里さんもこの道へ。昭和29年三多摩手をつなぐ親の会の依頼で通所施設を始めた頃は、6歳から12歳という年齢の利用者さんにお勉強を教えていましたが、今は支援学校を卒業した18歳以上の利用者さんに、身辺自立をお手伝いする毎日だそうです。まずハンガーに衣類をかけることから。毎日毎日の繰り返し。次のステップのため、いろいろな事情で生活環境が変化するかもしれない時のため、利用者さんの個性を尊重し、本当の家族のように接するしらゆりの皆さん。明るい笑顔がとてもすてきなご家族でした。

かたこと

◆相次ぐ台風で犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また甚大な被害に遭われた各地の皆さま、心よりお見舞い申し上げます◆昨年の鬼怒川の氾濫では、常総市に住むえくてびあん制作スタッフも被災しました。災害は本当に他人事ではありません。備えが肝心!◆アールブリュット2016に展示される作品はどれも素晴らしい!驚異的な集中力で描かれた動物の絵。その目はまるで「お前はそれでいいの?」と問うているようで、身が引き締まる思いさえしました◆アールブリュット立川のおかげで、しらゆりの皆さんと知り合うことができました。どんな環境下でも、利用者さんが周囲の皆さんに愛されるように、自分の存在価値を認めてもらえるようにと日々努力される皆さん。感動しました。照孝さんのお父さまは陸軍の大佐で、航空第五連隊に所属し立飛(基地内)で資材監督をされていたのだから。立川の昔を知りたいえくてびあん、もう少しお話をうかがってみたいとなりました◆今月もすてきな出会いに感謝、感謝。

えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん

10月号 第35巻 通巻383号

平成28年10月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL http://www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。



立川に、今度は「博物館」登場

7月28日(木)、緑町にある統計数理研究所に行ってきました。統数研といえば、なにやら難しそうなことをやっているようで、ちょっと一般人は行きにくい。でも、勇気を出して行ってきました！行ってみたら、面白かったというのが率直な感想です。ご専門の方にはきっと興味深いのでしょうか。

今までに統数研が開発してきた歴代の物理乱数発生装置が一般社団法人 情報処理学会の「情報処理技術遺産」に、同時にこの地下にある「統計数理研究所 計算機展示室」が「分散コンピュータ博物館」に認定されました。この日はその展示品を見せていただきました。もちろん一般にも公開されていますので、統数研に申し込めば見学ができます。(申込先 ism-tour@ism.ac.jp)

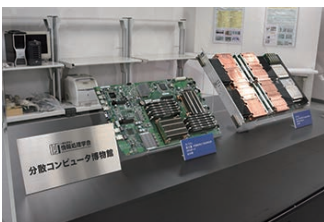
そもそも乱数って何？という基本的な疑問はあるものの、お隣の極地研が展示する45億年前の地球の石とか、国文研の展示室にある平安時代のものに比べれば歴史が浅いだけに、展示品の中にはどこかで見たことがあるようなものもあります。半世紀しか経ってなくても「遺産」になってしまう進化の速い世界ようです。何にもわからなくても、大きさがどんどん小さくなって、重さがどんどん軽くなって、それなのに性能はアップして、くらいのことはわかりました。お隣のお部屋にはスパコン。冷却の方法も進歩しているようです。それにしても、何を計算してるんでしょう？



初代館長 田村義保教授



物理乱数発生装置群



スーパーコンピュータの部屋です
遺産と並んで、新旧のご対面という感じでしょうか

大規模災害発生！あなたはどうする？

平成28年11月9日(水)午前9時20分～12時まで、ららぽーと立川立飛で東京消防庁 立川消防署主催の「消防フェス 2016 in 立川」が開催されます。当日は1日消防署長として元サッカー日本代表の武田修宏さんをお迎えし、大規模消防演習や東京消防庁音楽隊の防火コンサートなどが行われます。災害は他人事ではない自分身。いつどんな場所で災害に遭遇するかわかりません。大規模商業施設で行われる演習は頻繁にはありません。お友達やご家族、近隣の方とお誘いあわせてどうぞご来場ください。



(写真提供：立川消防署)